

国立大学法人法施行から10年:「大学改革とイノベーションへの貢献」シンポジウム  
2013年10月12日(土)、東京大学 伊藤国際謝恩ホール

# パネル討論「社会のための研究推進と産学連携」 国立大学法人10年の成果と課題

—大学研究者として、産学連携本部長として—

保 立 和 夫

東京大学 大学院工学系研究科 教授  
東京大学 産学連携本部 本部長

[hotate@sagnac.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:hotate@sagnac.t.u-tokyo.ac.jp)

# 「大学の研究」と「課程博士の意味」

大学のミッション：  
大学の研究は、「**独創研究**」で  
なければならない

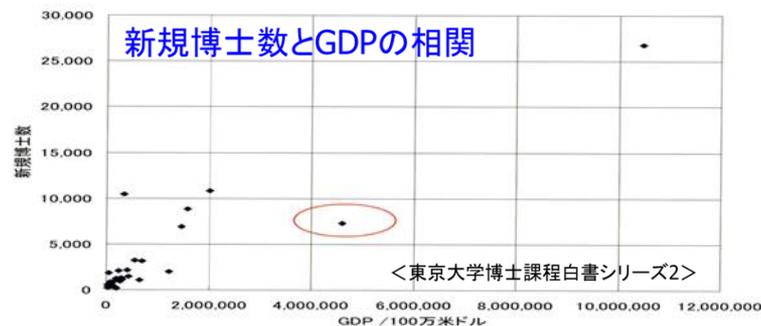
オリジナリティの根源1  
学んで**思い**、**思い**て学ぶ

**縦の棒の太い T型学習！**

オリジナリティの根源2  
「**こだわり**」

＜課程博士号取得者＞

- ・新たな研究成果を成し遂げた経験
  - ・「課題発見能力」と「課題解決能力」  
+ 斬新な成果を創造する力  
+ 斬新な成果の価値を見抜く力  
+ 斬新な成果を活用する力とマインド  
+ 斬新な成果を尊重し合うマインド
- 「課程博士号」は「イノベーション」に  
寄与できることを示す「パスポート」  
博士人材が、社会の、企業の、様々な  
部署に配置されていることが必要



# 大学研究者としての産学連携

## 1979 光ファイバジャイロの研究スタート

- ・初めての明細書原稿自筆／特許成立
- ・基本技術の研究成果と世界の研究動向の啓蒙
- ・企業との共同特許出願／成立／ロイヤリティ収入
- ・共同特許出願:[発明者+特許権者] or [発明者]



我が国初の光ファイバジャイロ (Hotate, 1979)

・「保立君ね、僕達はエンジニアなんだから、世の中に残る技術を作りたいよね！」(博士指導教官)

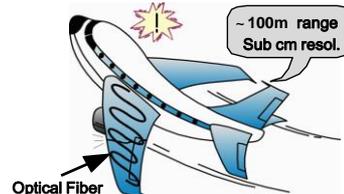
・「菓子折りひとつで渡していいのこんな先端技術」

## 1993 先端科学技術研究センター所属

## 1997 光ファイバ神経網技術の研究スタート

- ・基本特許(共同特許)の出願／成立
- ・機能向上技術の共同発明／共同特許申請／成立

Ex.4 Nerve System for Smart Materials



痛みの分かる航空機

・落語「試し酒」の久蔵さん: 課程博士の意味

「個人」と「組織」



「組織」と「組織」

## 2004 国立大学の法人化

- ・産学連携本部活動スタート
- ・神経網技術機能向上手法の単独発明／特許申請／成立
- ・当方技術の展開研究に関する共同研究契約の不成立
- ・実用化の為の共同研究スタート／プロトタイプモデル製作
- ・種々の応用開拓の為の共同研究スタート／共同特許申請

・「理学は神と語り工学は社会と語らう」

## 2011 産学連携本部長に就任

- ・イノベーションにより貢献する為の組織改編の検討スタート

・「歩幅の広いイノベーション」

## 2013 産学連携本部体制の改編:イノベーション推進部の設置

